平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月30日

上場会社名　日本精蝋株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5010　URL　http://www.seiro.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉田　泰邦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 細田　八朗　TEL 03-3538-3061

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	31,286	8.9	83	△96.9	△23	―	563	△63.2
23年12月期第3四半期	28,730	19.6	2,707	40.4	2,586	37.4	1,529	34.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	27.87	―
23年12月期第3四半期	75.44	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	34,015	11,216	33.0
23年12月期	31,443	11,027	35.1

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　11,216百万円　23年12月期　11,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	5.00	―	10.00	15.00
24年12月期	―	5.00	―		
24年12月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
平成23年12月期の期末配当金の内訳　：　普通配当　7円00銭　記念配当　3円00銭

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	9.4	250	△91.9	100	△96.6	600	△65.5	29.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	22,400,000 株	23年12月期	22,400,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	2,413,911 株	23年12月期	2,126,438 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	20,208,279 株	23年12月期3Q	20,273,603 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間(平成24年１月１日～平成24年９月30日)のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により内需は持ち直してきたものの、欧州の信用不安、新興国経済の減速、米国景気の回復遅れ、更には領土問題等を背景に世界経済の先行きは一段と不透明感を増してきました。一方、原油相場は年初から上昇を続け５月を境に下落に転じ第３四半期末には米国WTI原油が90ドル/バレル台、東南アジア産原油が110ドル/バレル台でそれぞれ推移しました。外国為替相場は年初の76円/ドルから円安が進行し一時83円/ドルをつけたものの、第３四半期末にかけて再び78円/ドル前後で推移しました。なお、２月２日の徳山工場出火事故による影響で停止中の減圧蒸留装置は第２四半期中に通常運転を再開しました。

このような状況の中で、ワックス販売は国内販売が８月以降やや伸び悩んできたのに加えて輸出販売が主力の米国需要の長引く低迷と中国品の攻勢で苦戦を強いられたことから、販売数量では47,425トン（前年同期比7,215トン減）、販売高では11,924百万円（前年同期比1,031百万円減）の実績となりました。一方、重油販売は火力発電用需要の堅調持続に加え減産分を一部仕入重油の販売で補なった結果、販売数量では281,655キロリットル（前年同期比34,915キロリットル増）、販売高では19,230百万円（前年同期比3,512百万円増）の実績となりました。

これにより、当第３四半期累計期間の実績は、前年同期に比較して売上高ではその他商品を含めて31,286百万円（前年同期比2,556百万円増）、損益面では原料調達コストの上昇や減産・減販に加え棚卸評価損（203百万円）等の影響により営業損益では83百万円の利益（前年同期比2,624百万円減）にとどまり、経常損益では23百万円の損失（前年同期比2,610百万円減）となりましたが、四半期純損益では出火事故に係る保険金のうち利益保険収入1,000百万円を特別利益に計上したことにより、563百万円の利益（前年同期比966百万円減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比較して2,572百万円増加の34,015百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加額894百万円、たな卸資産の増加額548百万円、現金及び預金の増加額387百万円に対して、有形固定資産の減少額246百万円等によるものです。これに対して負債合計は、前事業年度末に比較して2,384百万円増加の22,799百万円となりました。これは主として短期借入金の増加額3,209百万円、長期借入金の増加額718百万円に対して、未払法人税等の減少額789百万円等によるものです。また、純資産合計は、前事業年度末に比較して188百万円増加の11,216百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加額259百万円によるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、本日（平成24年10月30日）別途発表の「平成24年12月期通期業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたしました。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,512	1,900
受取手形及び売掛金	4,869	5,764
商品及び製品	5,554	5,898
原材料及び貯蔵品	3,894	4,099
前払費用	115	98
繰延税金資産	169	203
その他	234	1,265
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	16,343	19,225
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	884	904
構築物（純額）	941	877
機械及び装置（純額）	2,702	2,416
土地	9,307	9,409
建設仮勘定	104	125
その他（純額）	377	336
有形固定資産合計	14,316	14,070
無形固定資産	329	295
投資その他の資産	453	423
固定資産合計	15,099	14,790
資産合計	31,443	34,015
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,425	3,488
短期借入金	6,416	9,625
未払金	696	1,473
未払法人税等	870	80
預り金	551	433
賞与引当金	41	121
修繕引当金	175	100
設備関係支払手形	439	16
その他	183	183
流動負債合計	13,798	15,523
固定負債		
長期借入金	3,049	3,767
リース債務	46	38
再評価に係る繰延税金負債	3,053	3,053
退職給付引当金	281	242
その他	185	173
固定負債合計	6,616	7,276
負債合計	20,415	22,799

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第３四半期会計期間 (平成24年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120	1,120
資本剰余金	14	14
利益剰余金	4,883	5,142
自己株式	△532	△597
株主資本合計	5,484	5,678
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24	△29
土地再評価差額金	5,566	5,566
評価・換算差額等合計	5,542	5,537
純資産合計	11,027	11,216
負債純資産合計	31,443	34,015

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	28,730	31,286
売上原価	24,221	29,476
売上総利益	4,508	1,809
販売費及び一般管理費	1,801	1,726
営業利益	2,707	83
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
受取賃貸料	113	154
その他	35	88
営業外収益合計	153	248
営業外費用		
支払利息	150	168
為替差損	3	8
固定資産賃貸費用	106	157
その他	13	20
営業外費用合計	274	354
経常利益又は経常損失（△）	2,586	△23
特別利益		
受取保険金	－	1,000
特別利益合計	－	1,000
特別損失		
固定資産除却損	12	21
減損損失	0	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5	－
特別損失合計	17	21
税引前四半期純利益	2,568	955
法人税等	1,039	392
四半期純利益	1,529	563

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第３四半期累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年９月30日)

当社は、石油精製及び石油製品の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第３四半期累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日)

当社は、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。